

第 6 3 回関東東山病害虫研究会 研究発表会プログラム

日時：2016年3月3日(木) 10:00~16:36

場所：山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階 やまなしプラザ

病害第1分科会 (山梨県生涯学習推進センター 交流室A・B) 一般講演12分 1鈴：8分, 2鈴：10分, 3鈴：12分

時間	番号	講演題名	座長
10:00	病1-1	インドトキノキ, ヤマボウシに発生した炭疽病(新称)およびカエデ類炭疽病の病原追加 市之瀬玲美1・星 秀男2・小野 剛3・廣岡裕史 1・堀江博道1 (1法政大学植物医科・2東京都農林総合研究センター・3小笠原亜熱帯農業センター)	折原紀子 (神奈川県農業技術センター)
10:12	病1-2	Phytophthora primulaeによるアシタバ疫病の新発生(病原追加) 小野 剛1・廣岡裕史2・鍵和田 聡2・高原 彩2・袁島綾華2・竹内 純1・星 秀男1・堀江博道3 (1東京都農林総合研究センター・2法政大学生命科学部・3法政大学植物医科学センター・ 現 東京都小笠原亜熱帯農業センター)	
10:24	病1-3	東京都におけるワサビ病害の発生実態 小暮璃沙1・袁島綾華1・鍵和田聡1・星 秀男2・堀江博道1・廣岡裕史 1 (1法政大学植物医科・2東京都農林総合研究センター)	
10:36	病1-4	台木罹病程度が異なるナス発病株から分離した青枯病菌の病原性 古澤安紀子1・池田健太郎1・酒井宏1・中保一浩2 (1群馬県農業技術センター・2農研機構 中央農業総合研究センター)	
10:48	病1-5	ホワイトレースフラワー黄斑病の薬剤による防除 鐘ヶ江良彦1・田中千華1・海老原克介2・植松清次1 (1千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所・2千葉県安房農業事務所)	
11:00	病1-6	千葉県のニンジン産地におけるしみ症の発生状況について 中村耕士・横山とも子・福地信彦 (千葉県農林総合研究センター)	池田健太郎 (群馬県農業技術センター)
11:12	病1-7	千葉県で発生しているニンジンしみ症の原因について 横山とも子・中田菜々子・中村耕士 (千葉県農林総合研究センター)	
11:24	病1-8	トウモロコシ種子から高率に検出されるSugarcane mosaic virus 梶浦真衣・前野絵里子・平栗章弘・川合昭・西尾健 (法政大学生命科学部)	津田新哉 (農研機構 中央農業総合研究センター)
11:36	病1-9	イネ雑穀枯ウイルス感染イネにおける病徴発現とウイルス濃度の解析 奥田充・柴卓也・平江雅宏 (農研機構 中央農業総合研究センター)	
11:48	病1-10	イネ雑穀枯病抵抗性品種によるヒメトビウカのRSV保毒虫率の低減効果 植竹恒夫・酒井和彦・浅野 亘 (埼玉県農業技術研究センター)	
12:00		昼 食 ・ 休 憩	
13:00		総 会 (虫 害 会 場)	
13:40		特別講演(虫害会場) チョウ類を通してみた山梨の生物多様性の現状と課題 北原正彦 氏(山梨県総合理工学研究機構)	功刀幸博 (山梨県果樹試験場)
14:30		休 憩	
14:36	病1-11	メタアナリシスの選択に伴う統計的代償について 光永貴之 (農研機構 中央農業総合研究センター)	窪田昌春 (農研機構 野菜茶業研究所)
14:48	病1-12	メタアナリシスによるキャベツパーティシリウム萎凋病の抵抗性品種の評価 池田健太郎1・大河原一晶2・三國和彦2・小泉文晴2・酒井宏1・對馬誠也3・吉田重信3 (1群馬県農業技術センター・2群馬県農業技術センター高冷地野菜研究センター・3農業環境技術研究所)	
15:00	病1-13	キャベツパーティシリウム萎凋病の診断・対策支援マニュアルの作成と検証 池田健太郎1・大河原一晶2・三國和彦2・小泉文晴2・酒井宏1・對馬誠也3・吉田重信3 (1群馬県農業技術センター・2群馬県農業技術センター高冷地野菜研究センター・3農業環境技術研究所)	
15:12	病1-14	反射強化マルチの利用によるレタス根腐病レース1耐病性品種の高温期における品質向上と発病抑制効果 渡辺賢太1・金田真人2・伊藤瑞穂3・貝塚隆史4・柳井洋介5・草野尚雄1・小原孝司4・鹿島哲郎1 (1茨城県農業総合センター園芸研究所・2茨城県鹿行農林事務所経営・普及部門・3株式会社GRA・4茨城県農業総合センター・5(国研)農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所)	酒井 宏 (群馬県農業技術センター)
15:24	病1-15	トマトの萎凋病菌と青枯病菌、およびイチゴ炭疽病菌に対する電解水の殺菌効果 青木美佳1・野城いずみ1・小島英幹2・斉藤拓也2・望月浩二2・藤田佳克1 (1日本大学生物資源科学部・2デノラ・ペルメック株式会社)	
15:36	病1-16	栃木県におけるトマト葉かび病菌の薬剤感受性 森島正二1・中澤佳子1・福田 充2 (1栃木県農業環境指導センター・2栃木県農業試験場)	
15:48	病1-17	神奈川県におけるトマト灰色かび病菌のQoI殺菌剤, PP殺菌剤に対する薬剤感受性 奥村 一 (神奈川県農業技術センター病害虫防除部)	
16:00	病1-18	乾熱処理と薬剤処理を組み合わせたオオムギ黒節病汚染種子の消毒 山城 都1・高橋怜子1・福田 充1・青木久美2(1栃木県農業試験場・2栃木県農政部生産振興課)	山下 亨 (長野県農業試験場)
16:12	病1-19	金属銀水和剤によるムギ類種子伝染性病害に対する種子消毒の効果 島田 峻・青木一美・西宮智美 (茨城県農業総合センター農業研究所・ 現 茨城県農西農林事務所坂東地域農業改良普及センター)	
16:24	病1-20	水蒸気の凝縮熱を利用した種子消毒装置によるコムギなまぐさ黒穂病の防除効果 酒井和彦1・野田崇啓2・日高靖之2 (1埼玉県農業技術研究センター・2(国研)農研機構)	
16:36		閉 会	

時間	番号	講演題名	座長
10:00			
10:12			
10:24			
10:36			
10:48	病2-1	山梨県におけるブドウ黒とう病の防除体系 綿打享子・村上芳照・内田一秀・功刀幸博（山梨県果樹試験場）	
11:00	病2-2	温水処理と併用した土壌還元消毒によるナシ園における白紋羽病発病跡地の消毒 高橋真秀1・鈴木達哉2・牛尾進吾1・金子洋平1・平井達也1（千葉県農林総合研究センター・千葉県農林水産部）	福田 充 （栃木県農業試験場）
11:12	病2-3	長野県におけるナシ黒星病菌に対するDMI剤の効力低下 岩波靖彦（長野県南信農業試験場）	
11:24	病2-4	「リアルタイム梨なび」の開発 金子洋平・牛尾進吾・國友映理子（千葉県農林総合研究センター）	
11:36	病2-5	神奈川県で発生しているウメの枝枯れ症状について 岡本昌広1・島田涼子2・中島 修2・折原紀子1（1神奈川県農業技術センター・2神奈川県農業技術センター足柄地区事務所）	影山智津子 （静岡県農林技術研究所）
11:48	病2-6	神奈川県におけるトマト黒点根腐病の新発生およびその病原菌の所属 西村武祥1・折原紀子2・袁島綾華1・堀江博道1・廣岡裕吏1（1法政大学植物医科・2神奈川県農業技術センター）	
12:00		昼食・休憩	
13:00		総会（虫害会場）	
13:40		特別講演（虫害会場） チョウ類を通してみた山梨の生物多様性の現状と課題 北原正彦 氏（山梨県総合理工学研究機構）	功刀幸博 （山梨県果樹試験場）
14:30		休憩	
14:36	病2-7	静岡県におけるオリーブがんしゅ病の発生実態と防除 太田光輝1・田中弘太2・黒柳栄一2・遠 瑞枝3・瀧川雄一3（1日星コーポレーション・2静岡県病害虫防除所・3静岡大院創造）	
14:48	病2-8	トマトかいよう病のトマト主要品種に対する発病の品種間差異 高橋怜子・山城都・福田充（栃木県農業試験場）	井上康宏 （農研機構 中央農業総合研究センター）
15:00	病2-9	神奈川県内のコマツナに発生した黒斑細菌病（新称） 折原紀子1・篠原弘亮2・瀧川雄一3・中村陽香4・三神和彦1・上原娘香1・圓城寺香織1・岡本昌広1・植草秀敏1（1神奈川県農業技術センター・2東京農業大学農学部・3静岡大学創造科学技術大学院・4静岡大学大学院農学研究科）	
15:12	病2-10	<i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i>によるブロッコリーの花蕾腐敗症状について 石山佳幸1・小木曾秀紀2・中村憲太郎1・山岸菜穂1・清水時哉1・塩川正則1・吉沢栄治1（1長野県野菜花き試験場・2長野県農業試験場）	
15:24	虫20	休作期間が施設ピーマンのサツマイモネコブセンチュウ被害に及ぼす影響 後藤万紀・佐藤麻耶子・小川孝之（茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所）	
15:36	虫21	石灰窒素処理のレンコンネモグリセンチュウ <i>Hirschmanniella diversa</i> に対する密度低減効果 高木素紀1・久恒和雅1・柏木優2・鹿島哲郎1（1茨城県農業総合センター園芸研究所・2茨城県南農林事務所 経営・普及部門）	増井伸一 （静岡県農林技術研究所果樹研究センター）
15:48	虫22	振動を利用して果樹カメムシ類からピワを保護する技術の開発 清水 健1・河名利幸1・上地奈美2・高梨琢磨3（1千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所・2農研機構果樹研究所・3森林総合研究所）	
16:00		閉会	

虫害第1分科会 (やまなしプラザ オープンスクエア) 一般講演12分 1鈴:8分, 2鈴:10分, 3鈴:12分

時間	番号	講演題名	座長
10:00	虫1	神奈川県におけるミナミアオカメムシの初確認 白石和弥1・秋山絢音1・奥村一2・下園健志3・糸山享1 (1明治大学農学部・2神奈川県農業技術センター病害虫防除部・3神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所)	土井 誠 (静岡県農林技術研究所)
10:12	虫2	パッションフルーツ果梗部に食入した日本未記録のキクイムシ<i>Hypothenemus seriatus</i> 大林隆司 (東京都小笠原亜熱帯農業センター)	
10:24	虫3	リング園における地表面管理の差が生物多様性に及ぼす影響 金子政夫1・笹脇彰徳2・石井伸洋1 (1長野県果樹試験場・2長野県野菜花き試験場)	
10:36	虫4	明治大学生田キャンパス圃場のオクラにおけるヒメハナカメムシ類の発生推移と品種間差 伊藤栄・鶴田万智・糸山享 (明治大学農学部)	長坂幸吉 (農研機構 中央農業総合研究センター)
10:48	虫5	スワルスキーカブリダニを導入した露地ナス圃場におけるカブリダニ類の種構成 櫻井まさみ1・漆原寿彦2・吉澤仁志1・山中聡3 (1群馬県農業技術センター・2群馬県農政部技術支援課・3アリスライフサイエンス株式会社)	
11:00	虫6	間作ムギに発生するカブリダニ類によるネギのネギアザミウマに対する防除効果 土井誠・土田祐大・増井伸一・中野亮平・石川隆輔 (静岡県農林技術研究所 現 静岡県賀茂農林事務所・現 静岡県農林技術研究所果樹研究センター)	
11:12	虫7	ゴミムシが捕食したアオムシの特異的プライマーによる検出 日本典秀1・國友義博2・横内京子2 (1農研機構 中央農業総合研究センター・2山梨県総合農業技術センター・現 山梨県峡東農務事務所)	大井田 寛 (千葉県立農業大学校)
11:24	虫8	ギョウアブラバチに対する薬剤散布の影響 野口忠久・北林 聡・桑澤久仁厚・吉沢栄治 (長野県野菜花き試験場)	
11:36	虫9	次世代型バンカー法によるイチゴのアブラムシ防除 西村浩志1・小林誠1・伊村務2 (1栃木県農業試験場・2栃木県農政部経営技術課)	
11:48	虫10	施設ミニトマト有機栽培における天敵利用による害虫管理の試み 長坂幸吉1・勾坂晶1・山内智史1・澤田守1・杜建明2 (1農研機構 中央農業総合研究センター・2(有)ユニオンファーム)	
12:00		昼食・休憩	
13:00		総会 (虫害会場)	
13:40		特別講演 (虫害会場) チョウ類を通してみた山梨の生物多様性の現状と課題 北原正彦 氏(山梨県総合理工学研究機構)	功刀幸博 (山梨県果樹試験場)
14:30		休憩	
14:36	虫11	ニセラーゴカブリダニと併用可能なカンキツ黒点病防除薬剤 増井伸一・片山晴喜 (静岡県農林技術研究所果樹研究センター)	上杉龍士 (農研機構 中央農業総合研究センター)
14:48	虫12	神奈川県川崎市におけるアザミウマ類の発生と殺虫剤感受性の現状 鶴田万智1・下園健志2・糸山享1 (1明治大学農学部・2神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所)	
15:00	虫13	ミナミキイロアザミウマ千葉県内個体群の薬剤感受性の解明 名雪将史・大井田 寛 (千葉県立農業大学校)	
15:12	虫14	LED光源を用いた予察灯の水稻害虫に対する誘引性 平江雅宏 (中央農業総合研究センター)	野口忠久 (長野県野菜花き試験場)
15:24	虫15	斑点米カメムシ類のフェロモントラップに誘殺されたイチモンジセセリ個体数の推移 石島力1・平江雅宏1・奥圭子1・柴卓也1・安田哲也2 (1中央農業総合研究センター・2農研機構)	
15:36	虫16	長野県のダイズ圃場における子実加害性チョウ目害虫の発生実態 栗原 潤1・竹内博昭2・山下 亨1 (1長野県農業試験場・2中央農研北陸研究センター)	
15:48	虫17	ウメ輪紋ウイルスの拡散防止を目的とした春季におけるアブラムシ類の薬剤防除体系 加藤綾奈1・山口修平2・飯塚 亮1・星 秀男1 (1東京都農林総合研究センター・2東京都病害虫防除所)	日本典秀 (農研機構 中央農業総合研究センター)
16:00	虫18	高濃度炭酸ガスくん蒸処理による植物体への影響及び害虫に対する防除効果 川田祐輔・大矢武志 (神奈川県農業技術センター 生産環境部)	
16:12	虫19	「赤赤」ネットのタバココナジラミに対する防除効果とトマト育苗中被覆における生育及び収量への影響 大矢武志1・安井奈々子1・徳丸 晋2・阿部弘文3・川田祐輔1・植草秀敏1 (1神奈川県農業技術センター・2京都府農林水産技術センター・3日本ワイドクロス株式会社)	
16:24		閉会	